



後援名義依頼書

平成 28 年 4 月 25 日

小郡三井医師会

会長 廣瀬 真恵 殿

第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会 in 久留米 実行委員会
大会長：ニノ坂 保喜（にのさかクリニック）
実行委員長：斎藤 如由（斎藤医院）

第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会 in 久留米の後援について（お願い）

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度久留米の地において、第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会の全国大会を開催する運びとなりました。本研究会は 1992 年に設立され、ホスピスケアや在宅ケアの理念と実践を広げる活動を続けてきました。年に 1 回の全国大会では一般市民をも対象とした大会として、全国から参集する参加者や開催地地域住民に広くホスピスケア・在宅ケアの啓発を行ってきております。

今回はより多くの一般市民に参加していただけるようにプログラムを調整中です。また、九州各県はもちろん、広く全国の医学部・歯学部・看護学部の学生にも参加していただけるようにと思っております。

つきましては、貴医師会のご支援により所期の目的を達成いたしたく存じますので、ご後援いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

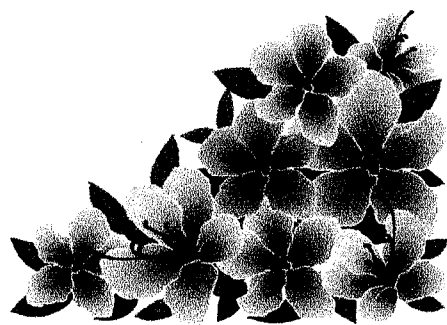
1. 名 称 第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 久留米
2. 開催期間 平成 29 年 2 月 4 日（土）～5 日（日）
3. 開催場所 久留米シティプラザ 六ツ門 8－4
4. 主 催 NPO 法人日本ホスピス・在宅ケア研究会
5. 参加人数 約 2000 名
6. 大会テーマ いのちを受け止める町づくり

第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会 in 久留米

2017 年 2 月 4 日（土）・5 日（日）

会場：久留米シティプラザ（久留米市六ツ門町）

開催趣意書およびご寄付依頼



第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 久留米

大会長：ニノ坂保喜

ご挨拶

謹啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会を2017年2月4日・5日久留米市で開催させていただき運びとなりました。現在、運営委員会を立ち上げて鋭意準備を進めている次第です。

本研究会は1992年に設立され、ホスピスケアや在宅ケアの理念と実践を広める活動を続けてきました。年に1回の全国大会では一般市民をも対象とした大会として、全国から参集する参加者や開催地地域住民に広くホスピスケア・在宅ケアの啓発を行ってきました。

日本緩和医療学会や日本死の臨床研究会などもありますが、どうしても癌患者の症状緩和に目が向いているのが日本のホスピスケアの実状のようです。本来のホスピスケアの意義を問い直す上で、今回はメインテーマを「いのちを受けとめる町づくり」サブテーマを「日本のホスピスが忘れてきたもの」としました。がん患者に限らず、すべての方に提供されるべきホスピスケアを提示していきたいと思えます。

今回はより多くの一般市民に参加していただけるようにプログラムを調整中です。また、九州各県はもちろん、広く全国の医学部・看護学部の学生にも参加していただけるようにと思っております。日本赤ひげ大賞受賞者達によるフォーラム・日本医師会長講演・非がん患者さんの終末期ケア・老年看護・遺族の体験談・介護施設住居問題討論・ミニコンサート等々を予定しております。

本来、大会の開催は会員の参加費などを持って運営すべきではありますが、大会を運営する上で様々な支出が見込まれます。一般市民や学生には参加費を低く設定したいとも思っており、大会を実り多きものにするために関係各位のご指導とご支援が不可欠であります。つきましては、本大会の趣旨と意義をご理解の上、格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会

大会長：ニノ坂保喜

開 催 概 要

- 1) 会期 2017年2月4日・5日
- 2) 会場 久留米シティプラザ (通称)
久留米市民文化部 久留米シティプラザ (正式名称)
〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1
電話 : 0942-30-9242
- 3) 規模 参加予定者 約2000名
- 4) 大会テーマ いのちを受けとめる町づくり
 (日本のホスピスケアが忘れてきたもの)
- 5) プログラム 招請講演 特別講演 教育講演 シンポジウム 一般演題
 ポスター ご遺族の講演 等々

○赤ひげフォーラム

日本のホスピス・在宅ケアの向かうべき方向は？

○落合恵子氏講演

老いることは嫌ですか？自分を生き切る思想と姿勢

○日本医師会会長 横倉義武氏講演

地域医師会が果たす役割

などの企画が決定しております

第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in 久留米

いのちを受けとめる町づくり ～日本のホスピスが忘れてきたもの～



いのちを受けとめる町づくり

～日本のホスピスが忘れてきたもの～

ホスピスという考え方が日本に広がり、さまざまな活動がなされてきた。日本のホスピスが追い求めて来たものは何だったのか？本来の意味を失ってはいないのか？日本のホスピスが向かうべき姿を、いま改めて問いかける。

- ▶ Suresh Kumar (インド・医師)・Harmala Gupta (インド・NGO) 講演・町づくりとしてのホスピス
- ▶ 横倉義武 (日本医師会会長) 講演
- ▶ 山崎章郎 (在宅ホスピス医)・米沢慧 (評論家) ニノ坂保喜による、日本のホスピスが忘れてきたもの
- ▶ 第3回日本赤ひげ大賞受賞者によるフォーラム
- ▶ 秋山正子 (マギーズ東京・くらしの保健室) 講演
- ▶ 副島賢和 (院内学級・子どもホスピス) 講演・シンポ
- ▶ 桑田美代子 (老人看護) 講演、全国からボランティア
- ▶ 非がん患者の在宅ケアシンポ・終末期の意思決定支援
- ▶ 口演・ポスター発表 他

日時 2017年2月4日(土)・5日(日)

会場 久留米シティプラザ 福岡県久留米市六ツ門8-4

大会長 ニノ坂保喜 にのさかクリニック理事長

大会実行委員長 齋藤如由 齋藤醫院理事長

主催 NPO法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会

実行委員会では、大会への寄付・大会当日のお手伝いを
お願いしています。ご協力をよろしくお願いします。

今回の全国大会は、豊かな自然に囲まれた福岡県久留米市での開催です。久留米は、文化・芸術・芸能においても優れた人物を多数輩出した土地柄です。

郷土料理に舌鼓を打ち、あたたかい人柄に触れて、「いのちを受けとめる町づくり」について熱く語り合いましょう！

九州の仲間たちが、みなさまをお迎えいたします。
ご参加を、心よりお待ちしております。